



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

---

CITATION:

質疑應答. 地球 1927, 8(6): 464-466

ISSUE DATE:

1927-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183359>

RIGHT:

噸ボリビアから約三萬噸、蘭領印度から二萬四千噸に達するが、將來はボリビアの方がよい。

蓋し、アンデス山にはあらゆる鑛源がある、銀や錫の外に、鉛と寶石も多い。錫は錫鑛脈中より採掘せらるゝを普通とするも、ボトシー、オルロ、ラパス地方では砂錫が廣く分布してゐるので、將來の成効は囑望されるが何分資本が足りない歐米諸國の企業家を歡迎するといふことである。

### ○イキトスの交通

秘露國ロレト縣首府イキトスはアンデス山脈の東側にあつてアマゾン河岸に位する同國唯一の貿易港である。一九二五年には同港貿易總額は九四六、二四五秘磅に達した、經濟上重要地點でもあり且又秘露の國防上から云ふても重要都市とされてゐる、然し國內の交通頗る不便不備であるから、ペルーの首府里馬からこゝへゆくのに、二十日乃至一ヶ月の長い旅行を経過せねばならぬ。鐵道を離れて、自動車、それから馬上でアンデスを越えアマゾンの支流に出て小汽船にのるといふ行方である。最近になつてこの國は米國のアンコン航空學校長グロー中佐によつて新しい交通計畫を立て愈本年十月から實施することになつた、飛行機のアンデス山越えは左の通りである。

里馬—オロヤー—鐵道

一時間

オロヤー—サンラモン—自動車

四時間

サンラモン—ヘルムデス—飛行機

四十分間四十軒

ヘルムデス—マシエア—飛行船

四時間八〇〇軒

マシエア—イキトス—同

六時間一〇〇〇軒

### ○文檢地理科豫備試驗問題(昭和二年度)

一、房總半島の地圖を描き其自然地理を説明せよ

二、ルーマニア國の地圖を描き其人文地理を説明せよ

三、斷層海岸の特色を述べ例を擧げて之を説明せよ

四、太平洋海底の形狀と其成因とにつきて述べよ

五、チエコスロヴァキヤ國と海外諸國との間に於ける交通につきてのべよ

六、世界の糖業につきて記せ

七、左の諸項につきて知る所を記せ

(イ)公主嶺

(ロ)パンジヤン Punjab

(ハ)カレドニヤ山脈 Caledonian Mts.

(ニ)エストニア Estonia (ホ)自治領

(ヘ)平太陽日

(ト)世界に於て三千米以上の高地にある都市若干

以上四時間

### 質疑應答

〔問〕 妙高、焼、黒姫、飯綱等の諸火山は那須火山帯に屬せしむるか將た又富士火山帯に屬せしむ可きか

〔答〕 震災豫防調査會報告第八號、妙高火山嶽地質調査報文第三編總論中に當時少壯なりし山崎理學士(今日の理學博士山崎直力教授)が「所謂富士火山脈なる一大火山脈を造り其伊豆七島より延びて伊豆半島に上り、天城群山を造り國根山嶽、愛鷹山、富士の高根を噴出し北に延びて八ヶ岳

東京 好學生

立科火山となり、更に進で日本海の岸に近づき爰に又數座の火山を噴出せり。飯綱、黒姫、高妻、妙高、焼山等其主峯にして今猶ほ活動の状態を存せるものあり。」と言はれた時から筆者に取つては既に此の問題に關する議論は終つたものかと思つて居た。所が此處に再び此の種の質問が出た然し筆者は此の八月以來既に三回此の種の問題を考へさせられる機會を與へられたので些か驚いて居る。第一には此の火山群を富士火山脈から切り離して考へて居る學者が在る。然し其れば那須火山帯に屬するからであるか否かは筆者に不明である。第二は非常に有益なる「日本群島に於ける火山の分布並に地形學的火山群の設定」を研究せられたる渡邊光及び今泉政吉兩氏が所謂那須火山帯の南部らしく思はる部分に淺間火山群なる名稱を附して、此の中に今考察して居る火山群を含まして居る事である。然し之れとても火山群の考へ方が筆者と違つて居て、所謂那須火山帯なるものを想定しないのであるから、此の火山群が淺間火山群に屬する事が即ち那須火山群に屬すると言ふ事と同一であるか否かは不明である。

#### 質疑 應答

上端は鋸の齒の如く凸凹に富み、凸部は所謂ストックな形成して其の頂上からは火山を噴出せしめる。飛驒、赤石の大斷絶は決して地表のみの現象ではなく全地殼の厚さに及ぶべきものなる以上、今考察する諸火山が疑問の二大火山脈中の何れに屬すべきかは自ら明かでないならぬ。火山群と火山帯との關係は地球上に於いて、點と線との關係であるから、火山群を取扱へる研究に眩惑されて大局の判斷を誤る事は學者の取らざる處である。(本問)

〔問〕ラトビア人はアジヤ人種に入れるべきや否や

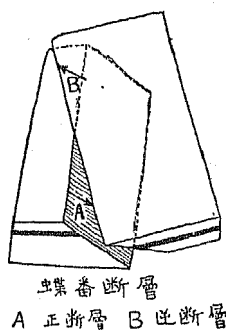
山形 長井政太郎

〔答〕バルト海岸のエトスニア。リホニア。グルランド(この後の二州にラトガルを併せてラトビアといふ)の三隣邦は夙にロシアに於けるジャーマンプロビンスの名があり、古い十字軍が普魯西からこの方面に侵入し、騎士の子孫が土地を支配した所である。この地方は先住の耕夫と狩獵者と、漁夫と互に争闘をしてゐたので容易に其地を騎士團の手に渡したもので、この騎士はこの地方の貴族として十八世紀に及びロシアの版圖になる迄榮えてゐたものである。かくて近世に至つても土地は多く獨逸系のパロシの手にあつて、農民はサーフ(農奴)の境涯にあつた。しかし新教が宣傳されてロシア本國のものよりも教育が進んできて遂にこの獨逸系の貴族に對して自治を要求し内亂がよく起つてゐた。で今度は大戰の結果こうした獨立國になつたも

のである。但し同じく獨逸系の貴族が侵入した國ではあるが、エストニア人とラトビア人との間には自から人種の差がある、簡單に云へばエストニア人は亞細亞人の血と歐洲北部型の血の混合してゐることフィンランド人に近いに反しリボニア、クルランドの方はリシアニア人と同じレツチ族といふもので、獨逸人やスカンデナビア人から見ればやゝ異つてゐるがやはり歐洲北部型の人種である。故にエストニア人の語はフィン人やマジャール人と同じ語系の言語をもつから亞細亞人種に入れてよいが、レツチ人は最も古いインドゲルマン語の一つを語つてゐてサンスクリットに近い古語を今日もつかつてゐるとの事である。しかしレツチと同じ種である南隣のリシアニア人はアシア人に近い方言を話すとのことであるから、リシアニア人をアシア種と記す學者もないではないかもしれぬ。けれどもラトビア及リシアニア何れも其血統は西方のチュートンの影響をうくることが多い故に之をフィンやエストニア人と同一にしてはいかぬだらうと考へる。(F)

〔問〕 蝶番斷層 Hinge Fault

〔答〕 斷層の一種であつて斷層面に垂直なる一軸を中心としてブロックの一部は上に、他の一部は下に移動する場合に生ずる斷層である。若し斷層面が傾斜する時は斷層の一半は正斷層、他半は逆斷層となること圖に示した如くであるこの種の斷層は火山地方には屢々生ずることがあつて米國



ユータ州アイランズプリング地方には多いといふ。蝶番斷層は一つに回轉斷層 Rotational Fault とつてゐる。

(上治)

〔問〕 朝鮮滿洲及日本列島の離島の中の水位は何處か

兵庫 徳田 生

〔答〕 大正十五年八月、陸地測量部要覽によれば本邦内地に於ける水準測量の高さの原點は陸地測量部構内に設けたる水準原點の標高中等海面上二四米五を基準とす、この原點の眞高は神奈川縣三崎町油壺の驗潮場にて二十四年間測定せる中等海面と僅に三耗の差あるのみ、臺灣及樺太にありては別に基隆及本斗の檢潮場附屬水準點を基準とす、本邦周海の中等潮位を測定する爲最近に至る迄に全國十三ヶ所に驗潮場を設けたり、曰く、油壺、宮城縣鮎川、和歌山縣串本、宮崎縣細島、長崎縣深堀、島根縣外浦、石川縣輪島、青森縣岩崎、北海道忍路、同花咲、臺灣基隆、高雄本斗等これ也、離島にては其海岸に簡易驗潮儀を具へ一年以上に檢測して之を定む。但し朝鮮は仁川にて驗潮し滿洲は旅順港にて驗潮したる由、聞き及ぶといへども筆者は確實なる責任を以て答ふること能はず。(藤田)